

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Be You すまいる		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 6日 ～ 2026年 3月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年 3月 6日 ～ 2026年 3月 19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	風通しのよいミーティングやコミュニケーションを促進しています。	毎日午前中にミーティングを行い、前日のプログラムの仕方や当日のプログラム内容の精査、子どもたちに関する共有などを行っている。自由な発想や様々な視点からの意見を屈託なく取り入れることによってより良い療育に繋がっています。	ミーティング以外にもコミュニケーションをとり、何気ない会話から療育へのヒントを職員全員で考えています。新しい職員にも話しやすい雰囲気やフィードバックを行っております。
2	専門性をもって支援を行っています。	保育、福祉関係を経験してきた職員が支援を行うことでそれぞれの専門知識に基づく支援を行っています。日常的に勉強会を実施することで知識や経験を日々の支援を行っております。また、月ごとに利用者様の発達を考慮した新しいプログラムを作成しています。	今後もグループ勉強会を実施し、専門に基づいた支援を行います。また、外部研修にも積極的に参加し、インプットしたものを施設でアウトプットし、施設として子どもにとってより良い療育をできるようにしていきます。
3	細かな情報共有を実施しています。	送迎時やアプリ上のコミュニケーションツール、個別面談を行い、気になったことやその日の様子などを伝えられるようにしております。	口頭だけではなく記録に残すことでその時対応していない職員も把握できるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々を招待するなど開かれた体制がとれておりません	保護者様の中には、個人情報を知られたくない肩もいらっしゃる為、当事業所に地域の方を招く事は困難だと感じております。	当事業所に地域の方を招くことは困難ですが、児童館や会場を借りてイベントなどを実施した際には、交流が持てる機会が作れると考えております。また、当法人内の保育園や学童などとは戸外や室内で遊びの際に一緒に遊んだりして交流を持っております。
2	保護者様同士の関わりが少ない	保護者同士が顔を合わせて話をしたり、相談する機会がない。保護者様や兄妹などが参加できるイベントがない	利用者様のご家族などが参加できるイベントを企画していく。
3			